



氏家幼稚園だより

第9号

平成 28 年 2 月 24 日

インフルエンザとおたふくかぜ まだまだ注意が必要です

立春を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きます。一時収まったかに見えたインフルエンザとおたふくかぜの罹患者が微増してきました。

保護者の皆様には、マスクの準備等大変お世話になっております。マスク着用をお願いしたところ、翌日にはほぼ全員がマスクを着用してきました。

私にとっては、300 人以上の幼児が一斉にマスク着用していることが驚きです。人数が増えると、徹底することが難しいのが世の常ですから。こうした、恵まれた環境で保育が営めることに感謝です。

先日、副園長が県の開催する「予防接種担当者研修会」に参加してきました。専門医(小児科)の話によりますと、病気による症状が軽快していても病原体は排出されていることもあるため、手洗い、うがい、マスク着用をしながら感染を広めない対策が必要だとのことでした。

インフルエンザでは、発症から 5 日を経ている事、熱が収まってから丸 2 日を開けてから登園ということになっています。A 型に罹患した後 B 型に感染している子もいますので、治癒後も予防策を講じたほうがいいでしょう。引き続き、病気を他人にうつさない、うつらない両方を心がけていきましょう。

活気あふれるなわとび大会

この大会をきっかけに、なわとびに対する関心が高まっているようです。

年少さんも飛びたい意欲が高まり、先生が作ってくれたこの縄で跳んでいます。ご家庭でも簡単に作れますので室内で遊んでみてはいかがでしょうか。



おりがみの輪飾りを作るように、布を手で裂き、結んで輪飾りを作っていきます。幼児が手で回すのに重さが丁度いいようです。

